

令和4年松本市議会第1回臨時会

市長提案説明

[4. 5. 17 (火) AM10:00]

令和4年松本市議会第1回臨時会を招集しましたところ、議員の皆様方には、揃って出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

3年ぶりに行動制限がなかった今年的大型連休は、松本市の市街地や行楽地にも、にぎわいと人出が戻ってきました。コロナを日常化し、社会・経済を正常化する。即ち、経済の回復と社会の活性に本格的に取り組む局面に入ってきたと考えます。政府が水際対策として実施してきた入国者数の上限も、来月から緩和される見通しになっています。

重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患を持つ人たちに重点を絞った対策を取り、マスクの着用や手指の消毒を適切に行いながら、日常の行動を積極的に展開していく環境を、市民の皆さんと共に作っていきたいと考えています。

ロシアのウクライナ侵攻を引き金に、原油価格の高騰と原材料の値上がりが続いています。さらに、日米の金利差の拡大などから急速に円安が進み、輸入コストの上昇は、コロナからの回復が期待される企業活動や国民生活に影響を及ぼし始めています。

こうした状況を受けて、政府は先月、原油価格高騰対策や生活困窮者支援等を柱とする「総合緊急対策」を決定し、この中に自治体が自由に活用できる財源として「地方創生臨時交付金」が盛り込まれました。松本市としても、この臨時交付金を家計や地域の実情に即して活用し、物価高に直面している生活困窮者に対する支援策などの実施を早急に検討してまいります。

ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー不安は、脱炭素社会の実現に対して、懸念と覚悟という相反する受止めを引き起こしています。私は、地球温暖化・気候危機に加え、エネルギー安全保障という観点が改めて浮き彫りとなったことで、世界の脱炭素＝ゼロカーボンを目指す動きは加速していく、日本は置き去りにされないよう取組みを加速させねばならないと考えます。

松本市は、環境省が肝煎りの制度として創設した「脱炭素先行地域」

に、「乗鞍高原地域」を信州大学と大野川区との共同で申請し、先月、長野県で唯一選ばれました。地域裨益型の小水力発電施設の導入、観光客らが利用する環境配慮型の二次交通の構築、森林資源を活かした木質バイオマス熱利用の事業化を柱とする提案は、全ての事業者と住民を対象とした提案であることや地域資源を活用した地域主導の取り組みであることが評価されました。

松本市としては、「脱炭素先行地域」に選ばれた乗鞍高原を起点に、ゼロカーボン社会の実現に向けて、多面的・総合的な取り組みを展開していきます。

その土台となるのが、条例の制定です。市民・事業者・行政それぞれの責務を明確にし、施策の基本方針を定めるもので、6月議会に提出できるよう調整を進めています。

また、今年2月に設立した産学官連携組織「松本平ゼロカーボンコンソーシアム」は、これまでにおよそ70の企業や団体に会員となっ
ていただいています。

さらに、再生可能エネルギーの地産地消を担う「地域エネルギー会社」の設立に向けて、事業内容の策定や運営体制の構築支援を委託するプロポーザル審査会を今週末に予定しています。

節目となる2030年、世界が目標とする2050年に向けて、松本市は、日本のゼロカーボン都市の先駆けとなり、市民一人ひとりの豊かさと幸せに繋げていくために、着実に前進してまいります。

サッカー・Jリーグの舞台では初めてとなる「信州ダービー」が、おとといの夜、長野Uスタジアムで開催されました。熱気と緊張感に包まれたスタジアムの光景は、ある種幻想的で、時空を超えた場に身を置いているような感覚に囚われました。「俺らが信州」と手書きで書かれた横断幕には、闘志とプライドを掻き立てられました。ホームゲームが開催される10月末には、松本山雅がJ2昇格にまい進し、松本の社会や経済がコロナ以前を超えて活況を呈していることを必ずや実現したいと思います。

それでは、ただいま上程されました議案につきまして、ご説明申し上げます。

提案した議案は、財産2件のほか、報告案件として、緊急を要し専決処分しました条例2件、補正予算1件の合計5件であります。

始めに、財産について、松本都市計画道路3・2・12号内環状北線整備事業用地、及び松本城南・西外堀復元事業用地の2件の取得を提出しています。

また、緊急を要し、地方自治法第179条の規定により、去る3月31日付けで専決処分をした、市税条例、及び国民健康保険税条例の条例改正2件、並びに、3月28日付けで専決処分をした、令和3年度一般会計補正予算を報告しております。

そのほか、議案以外のものとして、市長の専決処分事項の指定にかかわる報告1件を報告しています。

以上、本日提案いたしました議案等について説明申し上げました。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

(以 上)